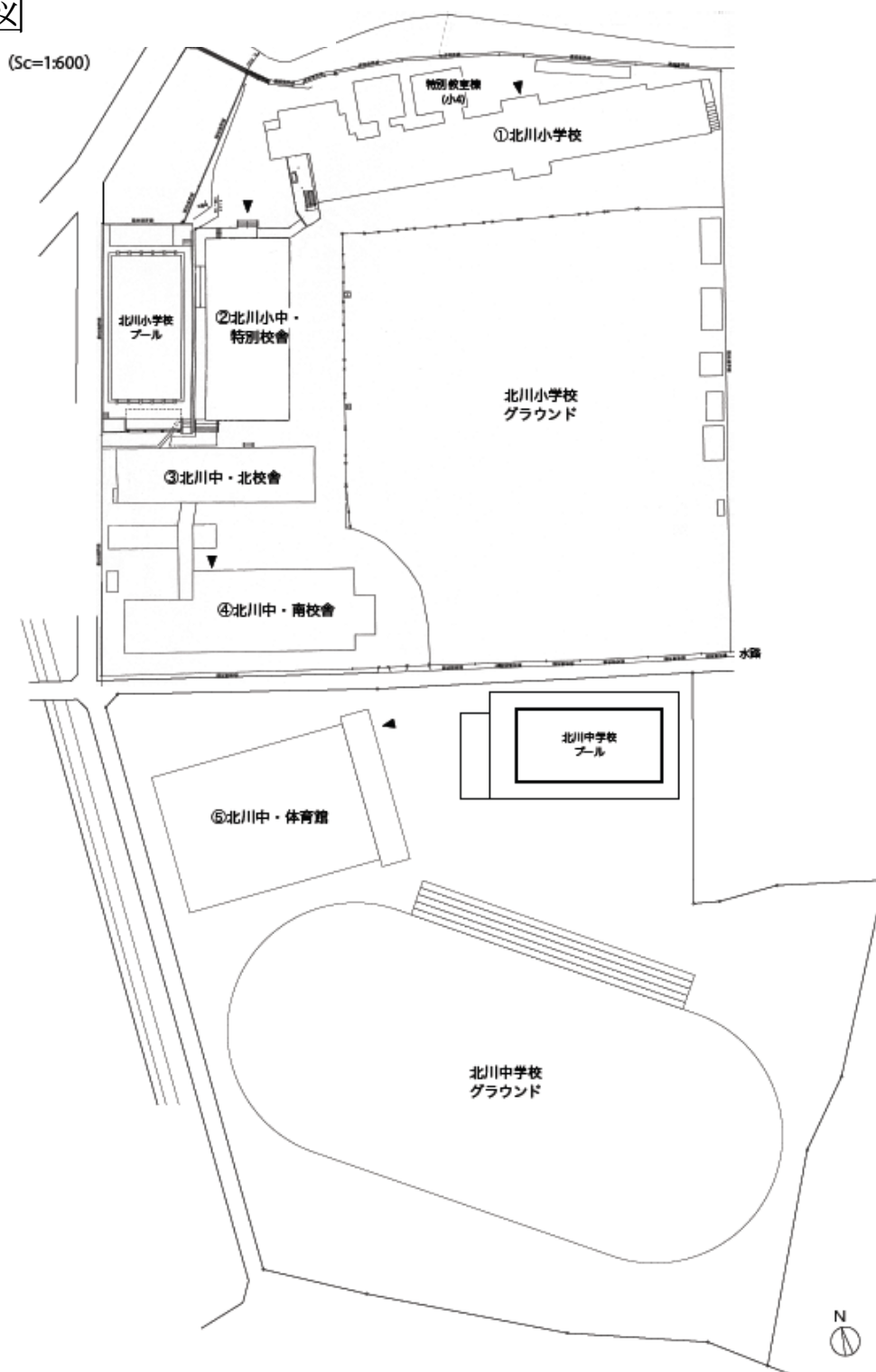


保育・教育施設の現況（図面）

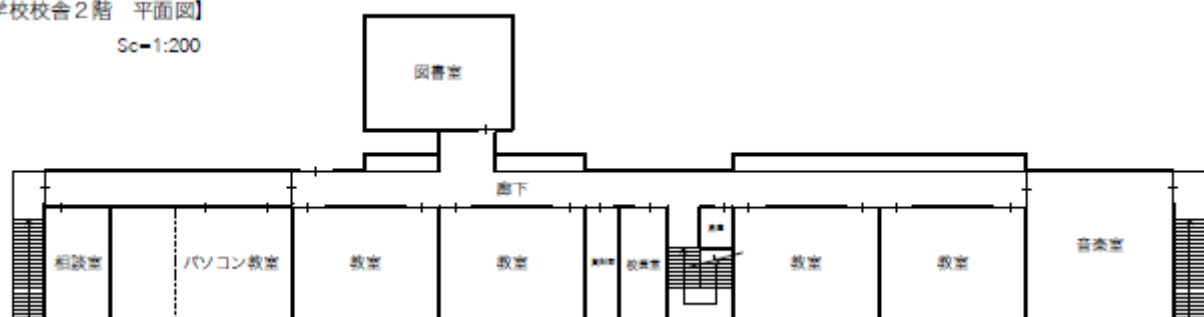
校舎概要図



小学校校舎 平面図

【小学校校舎2階 平面図】

Sc=1:200



【小学校校舎1階 平面図】

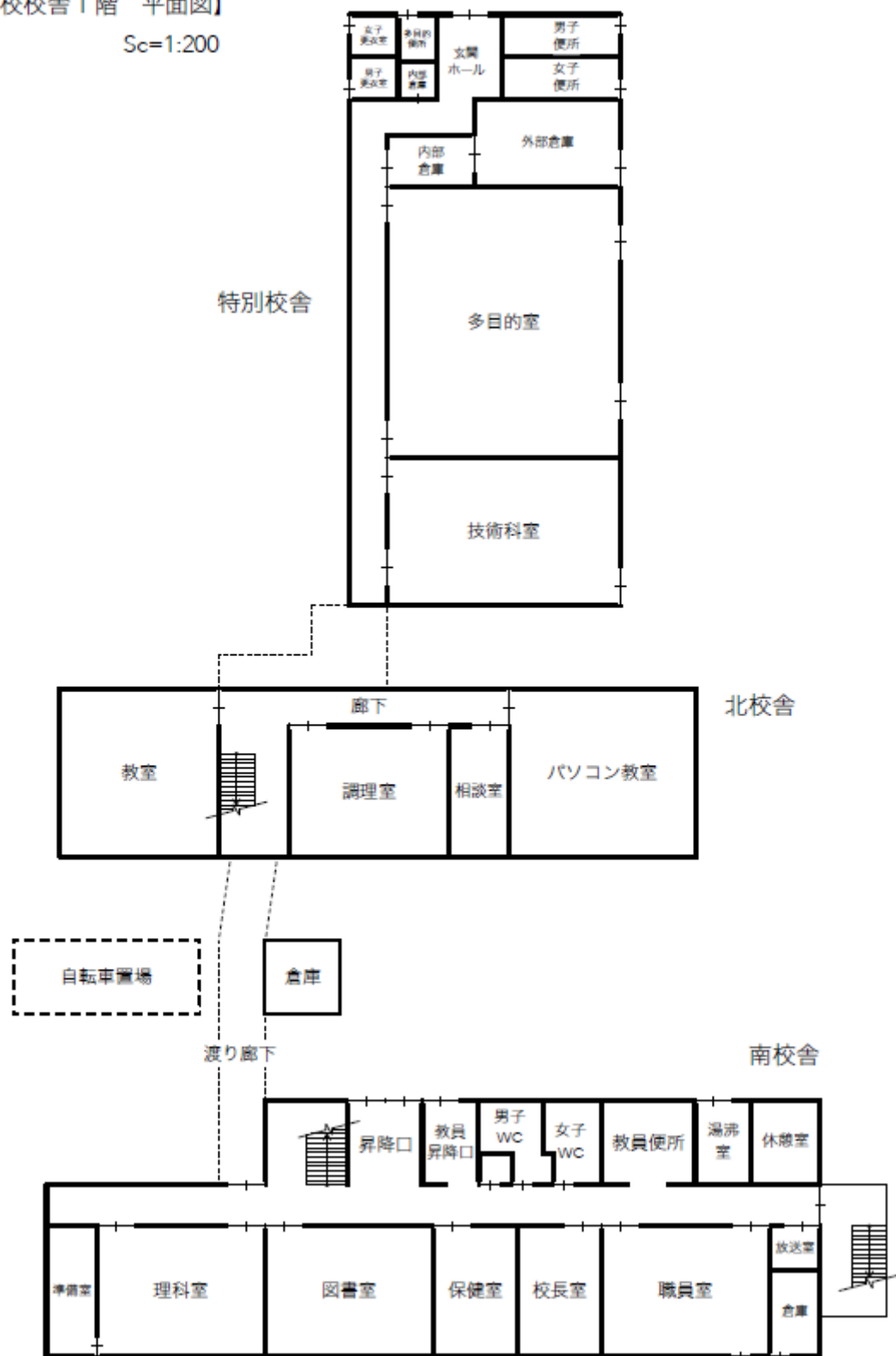
Sc=1:200



中学校校舎 平面図

【中学校校舎 1 階 平面図】

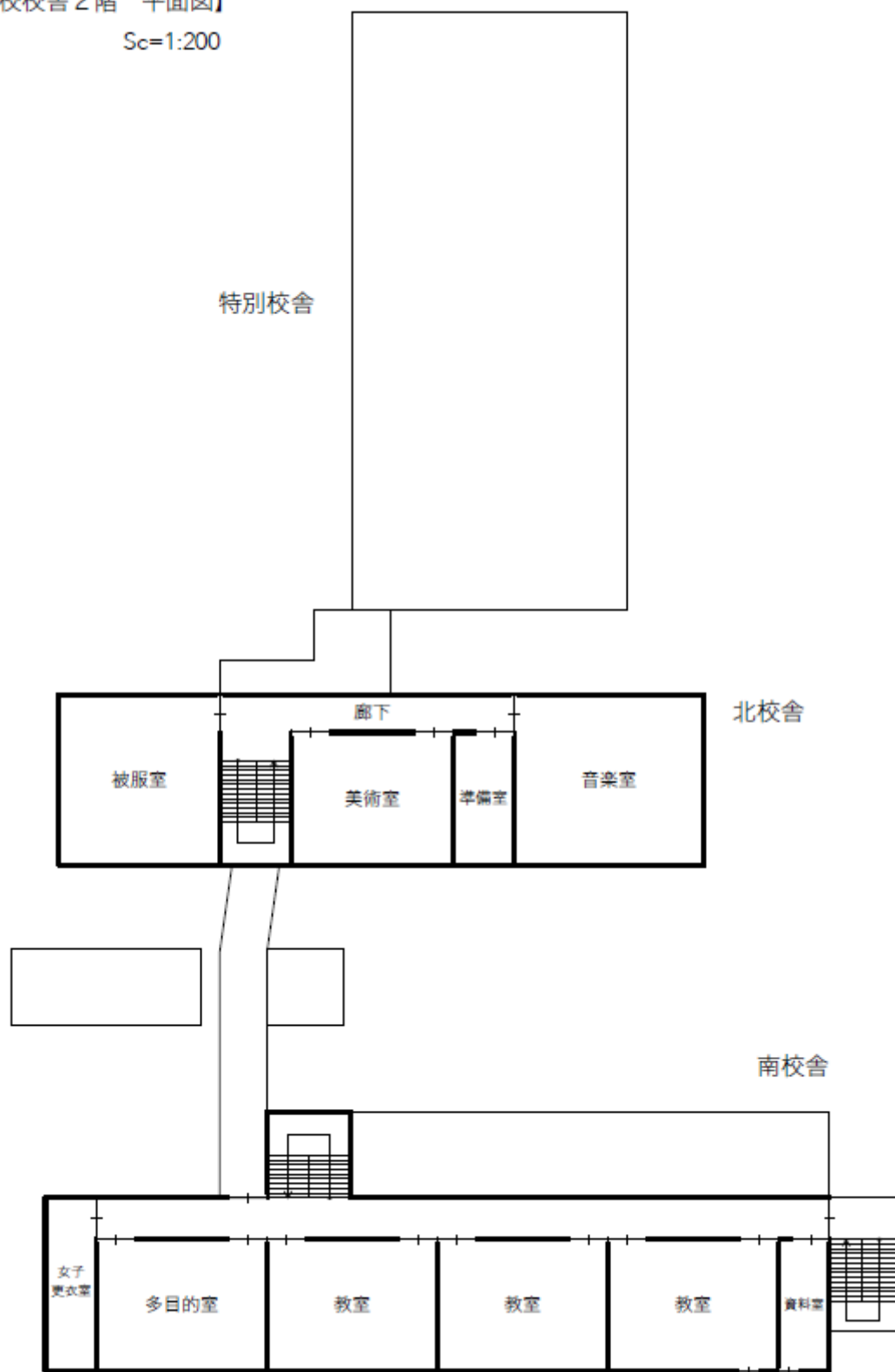
Sc=1:200



中学校校舎 平面図

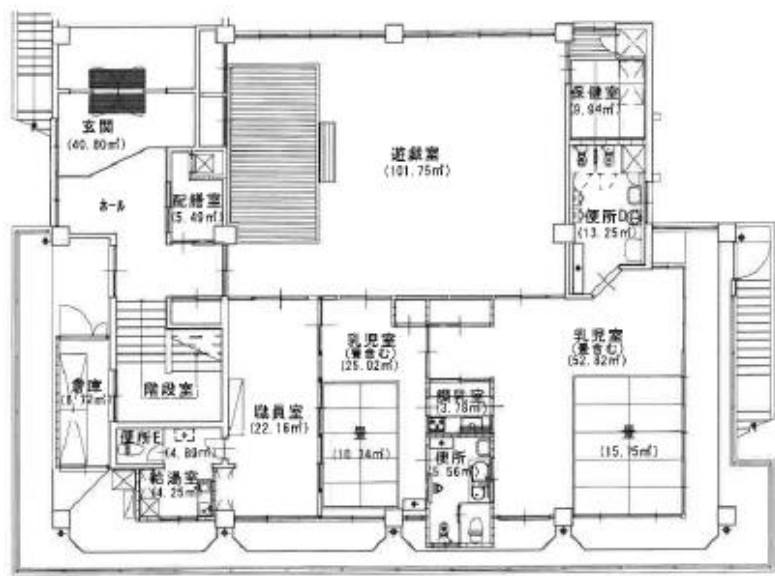
【中学校校舎 2階 平面図】

Sc=1:200



保育園園舎 平面図

【保育園園舎2階 平面図】



【保育園園舎1階 平面図】



北川村保小中一体化施設整備基本計画 目次・論点		参考資料2
目次	方針と論点	
第1章 基本計画の目的と背景	←「基本計画の目的」を追加	
1. 基本計画の目的	新設 （「北川村文教施設・子育て教育環境等整備事業基本計画」を基により具体的かつ実現可能なものとする観点を追記）	
2. 北川村の概要	時点更新	
（1）北川村の位置・地勢について		
（2）気候		
（3）交通		
（4）産業・文化		
（5）防災		
（6）人口		
3. 北川村の教育の概要	時点更新	
（1）将来人口の推計と保育所・小中学校の在籍人数		
（2）地域から学校をなくさない		
（3）北川村の教育目標と目指す子ども像（北川村子育て・教育ビジョン）		
（4）特徴的な取り組み		
4. これから目指す教育のあり方	内容見直し	
（1）北川村の子どもたちと、教育の現状、教育への展望	論点①：「北川村ならではの魅力かつ特色ある子育て・教育」に向けて、保小中一体化（＝保小中15年間の学びの連続性）をどのように担保するか。例えば、義務教育学校の導入や、教科横断的な学びの実践、教職員間の連携等々、どのような教育の形を目指すのが理想的（持続的）か。	
（2）教育の方向性		
（3）保幼小中一体的な教育の確立（15年一貫学園構想）		
（4）特色かつ魅力ある教育活動の創造		
（5）地域と共にある学校づくりのさらなる推進		
5. 北川村の文教施設・子育て教育施設の概要	内容見直し	
（1）教育施設の立地状況	（耐力度調査の結果を追記）	
（2）建物の概要		
6. 基本計画策定のプロセス	削除	
－（1）基本計画策定の体制		
－（2）基本計画策定のプロセス		
－（3）ワークショップの実施状況		
－（4）アンケートについて		
第2章 施設整備の基本方針	←「文教施設・子育て教育環境等整備事業の基本方針及び基本計画」から変更	
1. 本事業の基本的方針	内容見直し 論点②：上記の保小中一体的な学びを実現するためには、どういった環境づくりが必要か。 論点③：保育・教育施設の一体化に関連して、どこまでの複合化を考えるべきか。	
－（1）本事業計画の目的		
（2）北川村の文教施設、子育て教育環境等における課題		
（3）「北川村ならではの教育」を支える環境づくりの指針		
（4）環境づくりにおける3つの実現目標		
2. 環境づくりの具体的な取り組み目標		
（1）Ⅰ. 0歳～15歳の一体的な教育環境づくり（幼保一体化＋義務教育学校化）		
（2）Ⅱ. 北川村だからできる「子育て」環境づくり（学校施設への公共機能の複合化）		
（3）Ⅲ. 誰でも身近に気軽に立ち寄れる、魅力発信・村民活動・子育ての拠点づくり		
3. 環境づくりのデザインコンセプト		
第3章 計画条件について		
1. 計画対象とする施設の想定	時点更新	
2. 計画規模		
（1）園児・児童・生徒数		
（2）計画学級数		
（3）教職員数		
（4）その他利用者		
（5）計画における設置基準面積		
（6）計画敷地		
（7）施設計画の概要		
第4章 施設の計画		
1. 施設計画にあたって	内容見直し 論点④：保小中一体的な環境づくりのために今の施設では足りないところや、より快適な空間づくりのために必要とされるところはあるか。	
2. 施設計画の5つの視点と方向性		
（1）5つの視点について		
（2）5つの視点の方向性について		
3. 計画する施設の構成		
（1）3つの施設の一体的な整備		
4. 施設の構成		
（1）学校と公共的機能が複合化し、共創する「学びのひろば・ゆずのたね」のイメージ		
（2）施設の機能構成について		
（3）3つのエリアとそれぞれの施設の計画		
（4）特別教室の利用率算定		
（5）各室数と面積の構成		
（6）配置計画の目標		
第5章 施設の具体的なイメージ	←追加	
【右の記載内容に伴い、新たな節を構成】	新設 （具体的なイメージのほか、配置・ゾーニング案、概算等を記載） 論点⑤：配置・ゾーニング案、概算等を踏まえ、どうすべきか。	

第6章 事業手法	←「多様な官民連携のあり方について」から変更
1. 官民連携（PPP/PFI）を検討する背景について	内容見直し （従来方式を含め、事業手法を再整理）
2. PPP/PFIにおける事業手法について	
（1）PPP/PFIについて	
（2）全国の事例について	
（3）複合化に関わる法的整理	
（4）サウンディング結果について	
3. VFMの算定及び定性的評価について	
（1）VFMについて	
（2）VFMに関する前提条件の整理	
（3）北川村におけるVFMについて	
（4）官民連携における定性的評価について	
4. 北川村における官民連携の方向性について	
第7章 今後の事業スケジュールと今後検討すべき課題	
1. ロードマップ	内容見直し （上記の検討結果に合わせて、スケジュール等を更新）
（1）想定プロセス（PFI法に則った場合）	
（2）事業化に向けたスケジュール	
2. 今後検討すべき課題	
（1）複合施設の範囲の設定	
（2）公的不動産の有効活用	
（3）資金調達について	
（4）庁内体制の仕組み	
（5）地域を巻き込んだ事業推進方法の構築	
巻末 基本計画策定のプロセス	←追加
【右の記載内容に伴い、新たな節を構成】	新設 （委員やスケジュール、アンケート等、令和7年度の検討状況を追記）

		～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
基本計画検討委員会			第1回 (10/28) ●	第2回 (11/25) ●	第3回 (12/15) ●	第4回 (1/19) ●		第5回 (3/4) ●	予備 (3/18or19) ●	第6回 (4/13の週) ●	
基本計画			見直し					報告・取りまとめ			
検討事項	項目内容		・ 論点 ・ 検討スケジュール	・ 保小中一体的な教育の在り方 ・ 環境づくりの基本方針・コンセプト	・ 保小中一体化のために必要な施設 ・ 地域・企業とつながる施設の在り方 ・ ICT教育の推進 ・ インクルーシブ教育の推進 ・ ZEB化・木材利用の促進 ・ 複合機能の可能性			・ 具体的な配置・ゾーニング案 ・ 構造方式 ・ 概算	・ 取りまとめ（今後の事業スケジュールを含む。）		
	条件整理			・ 乳幼児児童生徒数 ・ 教育の現状・課題	・ 先進事例 ・ 必要諸室 ・ アンケート結果			耐力度調査 (～2/20)	・ 既存施設の活用可能性 ・ 事業手法の整理		
意見集約	児童生徒					ワークショップ (1月中) ○		パブリックコメント			
	教職員	教育連絡協議会 (8/18) ○				教育連絡協議会 (1/14) ○					
	保護者				運営協議会 (12/16) ○	アンケート					運営協議会 (3月中) ○
	地域住民				ワークショップ (12月中) ○						